



竹本 清 議員

健康とマナーへの禁煙対策

問

①伊予市も「勤務中喫煙禁止」を実行すべきと思う。
 ②予防医療に禁煙は必要で、行政もたばこ対策を積極的に推進すべきと考える。

答 中村市長

①平成15年5月に健康増進法が施行され、本市でも庁舎内禁煙とし、受動喫煙防止策を講じている。

職員の約25%が喫煙しているようで、マナーの面など、いろいろ批判があり、健康管理上も好ましいことではないことは、十分承知をしている。しかし、たばこは長年嗜好品として社会に定着しており、それを強制的に執務時間中禁止とするのもどうかと思う。

②当市においても、職員に対して定期健康診断等さまざまな機会をとらえて、禁煙教育・マナー教育を継続的に粘り強く行い、喫煙者の減少を図り、執務時間中の禁煙について職員の理解を得られる状況にしていきたいと考えているところであり、お許しをいただきたい。



防災行政無線システムの現状

問

①全体の工事進捗状況は。
 ②難聴地域解消の対策は。
 ③戸別受信機の全戸設置を。
 ④防災無線を民間での利用は。

答

総務部長

①今年度は平成19年度中分の本庁地区と平成20年度分の中山区の工事を行うべく作業を進めている。本庁地区の工事の事業量が予想以上に多く、また合併特例債の関係もあり、本庁地区は今年度中に完成さ

せる必要があるのですが、今年度は本庁地区の完成に全力を尽くし、中山地区は次年度に繰り越さざるを得ない状況である。

中山地区は従前の施設が機能するので、支障を来さないということになる。

工事の進捗状況は、森山中継局について、現在中予地方局に確認申請をしており、確認がおり次第、工事に取りかかることにしている。

なお、铁塔等の施設についても、現在並行して製作中で、屋外拡声子局については、現在本庁地区の各広報区長に設置箇所の確認中であり、間もなく一部着手することになっている。

②戸別受信機の設置状況は、本庁地区で現在難聴地区を中心に設置箇所の選定を行っており、順次設置する予定である。

戸別受信機の配分先は、本庁地区では、屋外拡声子局の音声が届かない地区に配備し、その他は各広報区長又は各自主防災組織の会長、防災担当機関、避難予定施設、集会所等を考えている。

双海地区では、全世帯に設置されている既存のアナログ

戸別受信機をそのまま利用し、有効活用する予定である。

次に、災害が発生し防災行政無線の難聴地区が発生したときの対応としては、広報車の巡回や安全・安心メールによるお知らせなどのほか、自主防災組織の活動も必要になる。

③皆さんに個人負担をしていただいても、メンテナンスの費用を含め、財政的にも多大な負担を生じることもあり、現時点では困難である。戸別受信機の設置も含め、新しいシステムの開発等も視野に入れ検討したい。

④デジタル防災行政無線が有線放送の代役を担い、地域住民の方に各種情報伝達手段にならないかということであるが、電波法の関係で、放送内容等によって取扱いが異なる場合があるが、基本的には可能である。

答 中村市長

市民競技場は平成16年7月に供用を開始し、市民の皆様にも広く利用をいただいているが、競技場建設段階では、今回質問をいただいた利用形態を想定はしてなかった。

駅伝大会を実施する場合には、競技場の利用方法や運営方式等について、議員の提案を主催団体である伊予市体育協会関係者と協議を行い、駐車場の利用方法等は工夫を重ね、運営上の問題点等の洗い出しを行い、よりよい大会運営が行われるよう努力したい。

しおさい公園内通路の改善

問

駐車スペースが有効活用できると陸上競技場南側駐車場西端に、新たに出入口を設置してほしい。



しおさい公園駐車場